

第 1 回
市原地区地域協議会

「県立高校改革推進プラン」及び
「第 1 次実施プログラム」について

令和 6 年 1 月 16 日 (火) 13:30～
サンプラザ市原 研修室 2

 みんなで取り組む
千葉の教育

千葉県教育庁企画管理部
教育政策課高校改革推進室

1

I これまでの高校再編について

1 再編の経緯

「県立高等学校再編計画」
(平成 14 年 11 月策定)

目標年次 平成 14 年度～23 年度



学科設置や統合等の再編中心

「県立学校改革推進プラン」
(平成 24 年 3 月策定)

目標年次 平成 24 年度～令和 3 年度



コースなどの魅力づくりが中心

2

2 計画の性格

- ・ 具体計画は、**実施プログラム**により実施
- ・ 必要に応じた見直しを考慮

「県立高等学校再編計画」



第 1 期実施プログラム: H14.11 策定
第 2 期実施プログラム: H16. 5 策定
第 3 期実施プログラム: H18.12 策定

「県立学校改革推進プラン」



第 1 次実施プログラム: H24.3 策定
第 2 次実施プログラム: H26.3 策定
第 3 次実施プログラム: H28.3 策定
第 4 次実施プログラム: H30.3 策定

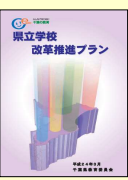
一部改訂
H30.3 策定

3

3 「県立学校改革推進プラン」

実施プログラムの主な内容

- 魅力ある高等学校づくり
 - ・ 社会のニーズに対応したコースの設置
教員基礎コース(4 校) **保育基礎コース**(2 校)
医療・福祉系コース(8 校) **工業系コース**(2 校) 等
 - ・ **理数科**の設置(2 校)
 - ・ **連携組織(コンソーシアム)**の設置(工業、農業)
 - ・ **総合学科**の設置(全日 2 校、定時 1 校)
 - ・ **中高一貫教育校**の設置(1 校)
 - ・ **地域連携アクティブスクール**の設置(4 校)
- 適正規模・適正配置
 - ・ **全日制 3 組統合**(125 校 → 121 校)
 - ・ **三部制定時制高校**の設置(1 校)



4

II 「県立高校改革推進プラン」について



令和 3 年 6 月～令和 4 年 1 月
次期プラン策定懇談会開催
令和 3 年 9 月～10 月
地域協議会を 5 か所で開催
令和 3 年 12 月～1 月
パブリックコメント実施

↓

令和 4 年 3 月
県立高校改革推進プラン策定

今後 10 年間の県立高校改革に関する
基本的な考え方を示す

5

1 県立高等学校の現状と課題

(1) 生徒のニーズの多様化

- 高校進学率 **98.9%**
- 経済的、社会的に **様々な困難を抱えた生徒**の増加
- **日本語指導が必要な生徒**の増加

(2) キャリア教育・職業教育の充実

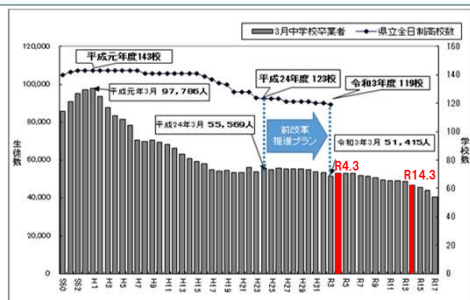
- 高校卒業後の進路内訳
 - ・ 進学…約 **74%** (大学、専門学校等)
 - ・ 就職…約 **17%** (およそ 5,500 人)
- **農業、工業、水産、介護、保育分野等**
さらなる担い手の育成が必要



6

(3) 人口の減少

○中卒者数が10年後には現在より**約6,200人減少**



《本県の中学校卒業生数及び県立全日制高校数の推移》

7

2 4つの計画実施上の重点事項

- (1) 全ての高校の魅力化と学びの改革
・**スクールポリシー**を基点に推進
- (2) キャリア教育と職業教育の充実
・**高校が小・中学校のキャリア教育を支援**
→ 職業系専門学科への理解を深める
・**時代や社会が求める人材の育成**
- (3) 学校間連携
・学校、学科の垣根を越えた連携を推進
- (4) 戦略的な広報
・**小・中学校等との連携**を視野に展開

8

3 4つの基本的コンセプト (目指すべき県立高等学校像)

- (1) 予測困難な時代の中で、生徒が主役となり、**未来を切り拓く力を育む学校**
- (2) 各校の特色化を進め、生徒・教職員が生き生きと活動して、**「自信」を育む学校**
- (3) 一人一人の可能性を広げ、地域から世界まで**様々な舞台で活躍できる生徒を育てる学校**
- (4) 身近な課題を探究するなど、地域との絆を深め、**地域とともに発展する学校**

9

4 8つの改革の方向性

- (1) 学習意欲を喚起し、**可能性や能力を最大限に伸長する学び**への転換
- (2) Society5.0※に対応した**新時代に求められる探究的な学び**の推進
※ 仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会
- (3) 普通科を含めた全生徒の**キャリア教育と職業教育の充実**
- (4) 共生社会の実現や**多様な学習ニーズに対応した教育**の推進

10

4 8つの改革の方向性

- (5) スクール・ポリシー※に基づく**各校の魅力化・特色化と効果的な学校運営**の推進
※ 各学校における教育活動の指針となる3つの方針
・育成をめざす資質・能力に関する方針
・教育課程に関する方針
・入学者の受入れに関する方針
- (6) 生徒が生き生きと学ぶことができる**教育環境の整備**
- (7) **地域や企業、教育機関等と連携・協働し**、身近な課題解決を考える学びなどの充実
- (8) **地域の特性に配慮し**、地域の振興に寄与する**高校の在り方や適正配置**の検討

11

5 魅力ある県立高校づくりの推進

【キャリア教育の推進】

- 求められる人材の育成に向けたコース**の拡充・設置
→ 医師・教員・保育士・介護従事者等
- 理数教育拠点校**の設置
- 時代のニーズを踏まえた新たなコースや学び
→ **農業経営者の育成**など
- 工業系コンソーシアム**の活性化
- 起業家精神を有する人材**の育成
- 福祉人材育成のためコンソーシアム**を設置

プランの
ポイント

12

【総合学科】

○新たに5校程度に設置

- ・ **STEAM教育**※の導入
- ・ 幅広い学びのニーズに対応した魅力ある系列
 - ※ 科学 (Science)、技術 (Technology)、工学 (Engineering)、アート (Art)、数学 (Mathematics) の5つの領域を対象とした教科等横断的な学習

【社会のニーズに対応した教育】

○ **単位制高校**※を3校程度拡充

- ・ 進学指導重点校などに**大規模な単位制高校**の設置
 - ※ 学年による教育課程の区分を設けず、決められた単位を修得すれば卒業が認められる高校

○ **地域連携アクティブスクール**を4校程度拡充

- ・ 学び直しや実践的なキャリア教育の推進

プランのポイント

13

6 県立高校の適正規模・適正配置

都市部 (第1学区～第3学区)

郡部 (第4学区～第9学区)

14

○適正規模

都市部：1学年あたり **6～8** 学級

郡部：1学年あたり **4～8** 学級

○適正配置

今後10年で中学校卒業生数が**約6,200人**減少

→ 活力ある教育活動の維持のため **10組程度の統合**を予定

都市部：**多様な学び**への変換

新たなタイプの学校への再編

郡部：**学校・地域の状況等に配慮**して検討

プランのポイント

15

【パブリックコメントの主な意見】

一定程度の規模は**不可欠**である

郡部については、**地域との十分な話し合い**が必要

過疎地域の特例について検討してほしい

16

Ⅲ 『第1次実施プログラム』について

令和4年10月
第1次実施プログラムを策定

- ・ 県立高校改革推進プランの**具体計画**
- ・ **12の再編項目**について**18校が対象**
- ・ **今後の統合の考え方**を示す

17

第1次実施プログラム 概要

1 既存のコース等の設置拡充

(1) 教員基礎コース	国府台・成東・大多喜
(2) 保育基礎コース	鎌ヶ谷西・土気
(3) 医療系コース	小見川
(4) グローバルスクール	松戸国際
(5) 福祉コース	船橋豊富
(6) 総合学科	匝瑳
(7) 地域連携アクティブスクール	行徳・市原
(8) 通信制協力校	銚子商業

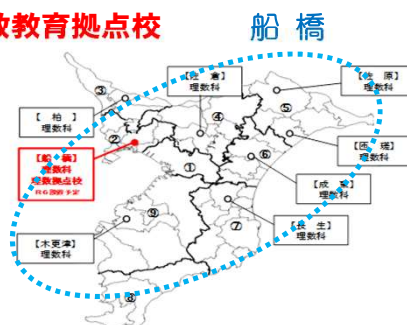
18

2 新たな学びの導入

- 19

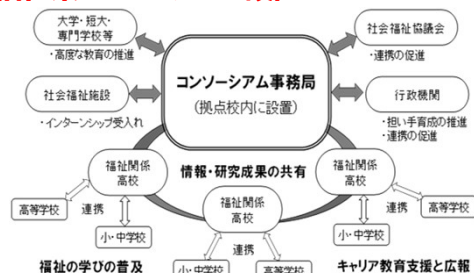
3 連携の推進

- 20



3 連携の推進

- 21



4 適正規模・適正配置

【都市部】

- 適正配置を考慮しながら規模を最適化
特色や個性を持った、より魅力ある学校に再編

4 適正規模・適正配置

通学の利便性、地元からの進学状況を踏まえ

地域連携協働校 を指定

- 地域連携協働校に指定された高校も含め、
生徒募集において著しく困難が生じる場合は、統合も検討

IV 今後の予定

- 24